

**2020 年度**

**農検 3 級**

**日本農業検定 3 級試験問題**

**全 50 問**

**試験時間 50 分**

**注意事項**

※監督者の指示があるまで、この問題を開いてはいけません。

※問題冊子の持ち帰りはできません。

空白ページ

**問 1** 生活の基礎産業である農業についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①農業の基本的な役割は、私たちの命を支える食料生産である。
  - ②農業は、衣料や住居の素材、医薬品の原料生産にもかかわっている。
  - ③農業は、化石燃料などエネルギー資源の生産にもかかわっている。
- 

**問 2** 農業就業人口についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①農業就業人口とは、農業のみに従事しているか、兼業よりも農業の労働日数が多い人の数をいう。
  - ②2019(令和元)年の農業就業人口は 200 万人台に回復した。
  - ③2019(令和元)年の農業就業者は、65 歳以上が全体の 60%を切り、高齢化に歯止めがかかった。
  - ④2014(平成 26)年度以降、49 歳以下の若手新規就農者が毎年 4~5 万人、就農している。
- 

**問 3** 「農産物直売所」についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①地産地消の多品目販売の場になっている。
  - ②少量の農産物でも出荷でき、農家が自分で値段を決められる。
  - ③店頭で消費者の反応を直接聞けるので、農家のやりがいにつながっている。
  - ④2017(平成 29)年度の全国の年間総販売額は、6000 億円に近づいた。
- 

**問 4** 2013(平成 25) 年のカロリーベースの食料自給率が最も高い国として、正しいものは次のうちどれですか。

- ①カナダ
  - ②オーストラリア
  - ③アメリカ
  - ④フランス
-

**問5 耕作放棄地についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。**

- ①耕作放棄地とは、過去2年以上作物が栽培されず、今後も農家が耕作に使う意思のない土地のことをいう。
  - ②耕作放棄地は大きく増加していて、2015（平成27）年には22万haに達している。
  - ③耕作放棄地が発生する原因は「高齢化・労働力不足」が最も多くなっている。
- 

**問6 野生鳥獣による被害についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①2018(平成30)年度の農作物への被害額(全国合計)で、最も多いのはサルによる被害である。
  - ②中山間農業地域では、野生鳥獣による被害が多いことも耕作放棄地が増える要因になっている。
  - ③駆除した野生鳥獣を地域資源のジビエ(野生鳥獣肉)として活用する取り組みが広がっている。
- 

**問7 地球温暖化についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。**

- ①大気中の温室効果ガスは地表面から放出される赤外線を吸収し、再び地表面に向けて放出するので、地球の気温が上昇する。
  - ②温室効果ガスのうち、大気中に最も多いのは二酸化炭素で温室効果ガス全体の4割を占めている。
  - ③温室効果ガスにより、地表の年間平均気温は約20℃に保たれている。
  - ④観測衛星「いぶき」の観測では、世界の平均二酸化炭素濃度は2019年11月には20年前と比べて10ppmも増加している。
- 

**問8 地球温暖化による農業への影響についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①地球温暖化が進むことで、本来その地域にいなかった生物の生息域が広がることが考えられている。
  - ②将来温暖化が進むと、いもち病の激発地帯が現在の東北から関東に変わると予想されている。
  - ③果樹では高温によって、リンゴ、ブドウ、カキなどの果皮の着色が不良になる事例が報告されている。
-

**問 9** パリ協定についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①パリ協定では、できるだけ早く世界の温室効果ガスの排出量の増加を止めることが目標の一つとされた。
  - ②パリ協定は 2020（令和 2）年以降の温室効果ガスを削減するための国際的な取り決めである。
  - ③世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて 2℃以内、できれば 1.5℃に抑える努力をすることが目標の一つとされた。
  - ④22 世紀後半までには温室効果ガスの排出量に対して森林などによる吸収量を 2 倍にすることが目標の一つとされた。
- 

**問 1 0** 生物多様性についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①生物多様性は 5 つの階層（レベル）に分けて考えられている。
  - ②生態系の多様性とは、自然環境の中でいろいろな動植物がかかわりあって生きている状態をいう。
  - ③同じ種の生物でも、それぞれが多様な遺伝子を持っていることを、種の多様性という。
- 

**問 1 1** 農地や農村にある生態系についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①農地生態系とは、水田の中で、昆虫が卵から成虫まで一生をつなげている状態をいう。
  - ②アキアカネは秋に水田に産卵し、春は水田で幼虫期を過ごし、夏に成虫となって高地に移動し、秋に水田に戻ってくる。
  - ③タンチョウヅルは越冬のために日本に飛来し、人間がつくりだした水田を餌場として利用している。
- 

**問 1 2** 地産地消についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか

- ①地域で生産された農産物をその地域で消費することを地産地消という
  - ②生産者と消費者の距離が縮まることで、消費者は新鮮で安価な農産物を得ることができる。
  - ③生産物の輸送距離が短くなるので、フードマイレージを大きくすることができる。
  - ④学校給食などに地元産の食材を使うことによって、食育の推進を図ることができる。
-

**問 1 3 肥満の定義についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。**

- ①肥満とは、体重が 100kg 以上ある状態のことをいう。
  - ②肥満とは、腹回りが 100cm 以上ある状態のことをいう。
  - ③肥満とは、脂肪が体に必要以上に蓄積した状態のことをいう。
- 

**問 1 4 生活習慣病についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。**

- ①生活習慣病は、食習慣や運動習慣、喫煙、飲酒、ストレスなどの生活習慣が深く関与し、発症の原因となる疾患の総称である。
  - ②現在、生活習慣病とされているのは心疾患、動脈硬化症、糖尿病、高血圧症の4つの病気である。
  - ③内臓肥満（内臓脂肪型肥満）に、いずれか3つ以上の生活習慣病が重なった状態をメタボリックシンドロームと呼んでいる。
- 

**問 1 5 基礎代謝量についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①基礎代謝量とは、安静な状態で生命維持に使われる必要最小限のエネルギー代謝量のことである。
  - ②年齢が上がるとともに基礎代謝量は大きくなっていく。
  - ③運動不足は筋肉量の減少につながり、これにより基礎代謝量が低下し、エネルギー消費量も少なくなる。
- 

**問 1 6 栄養素についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①人は食事から栄養素を摂ることによって、エネルギーを得、体をつくり、体の調子を整えている。
  - ②「炭水化物」「脂質」「タンパク質」を合わせて三大栄養素と呼んでいる。
  - ③ビタミンは三大栄養素の代謝を助け、体の調子を整える働きをしている。
  - ④食物繊維は無機質の一種で、腸の調子を整える働きをしている。
-

**問 1 7** 和食についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①ユネスコ無形文化遺産に「和食：日本人の伝統的な食文化」が登録されている。
- ②和食の基本は、ごはん(炊飯した米)、香の物(漬物)や汁物に、主菜と副菜、副副菜数種を組み合わせた「一汁五菜」である。
- ③和食は、「昆布」「かつお節」「干しいたけ」「にぼし」などのだしを効かせて、素材の味を生かして調理される。

**問 1 8** 生鮮食品の表示についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①輸入された肉は、「原産国名」が表示される。
- ②輸入された魚は、「原産国名」が表示される。
- ③冷凍品を解凍した魚には「冷凍」と表示される。
- ④野菜・果物には、名称と原産地が表示される。

**問 1 9** 消費期限・賞味期限についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①消費期限は、おいしく食べられる期限のことである。
- ②賞味期限は、安全に食べられる期限のことである。
- ③賞味期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるということではない。

**問 2 0** 下図のマークについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。



- ①厚生労働省の食品の安全規格に適合していると判定された飲食料品につけるマークである。
- ②農林水産省の日本農林規格に適合していると判定された飲食料品や林産物につけるマークである。
- ③消費者庁の消費安全基準に適合していると判定され飲食料品につけるマークである。

**問 2 1 食事の仕方についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①世界の食事の仕方は「手食」、「ナイフ・スプーン・フォーク食」、「箸食」の3つに分類されると言われている。
  - ②食前の「いただきます」は食材となった命への感謝など、食作法は感謝の気持ちを表すことから生まれてきている。
  - ③食事の時に、料理を大皿から一人一人に取り分ける箸は「渡し箸」という。
- 

**問 2 2 細菌性食中毒の予防の原則で、正しいものは次のうちどれですか。**

- ①細菌を見逃さない、殺菌する、増やさない。
  - ②細菌を見逃さない、つけない、殺菌する。
  - ③細菌をつけない、増やさない、殺菌する。
  - ④細菌をつけない、見逃さない、増やさない。
- 

**問 2 3 種子の発芽に必要なものは、次のうちどれですか。**

- ①水
  - ②空気（酸素）
  - ③温度（適温）
  - ④肥料（養分）
- 

**問 2 4 嫌光性種子（けんこうせいしゅし）の野菜は、次のうちどれですか。**

- ①ミツバ
  - ②ニンジン
  - ③カボチャ
  - ④セロリ（セルリー）
-



**問 2 5** 生育に適した温度が 15～20℃で、露地栽培でも冬越しできる、寒さに強い野菜は、次のうちどれですか。

- ① トウモロコシ
  - ② ネギ
  - ③ トマト
  - ④ エダマメ
- 

**問 2 6** 野菜の原産地についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① ナスの原産地はインドである。
  - ② トマトの原産地は南アメリカである。
  - ③ カブの原産地は北欧である。
  - ④ ミツバの原産地は日本である。
- 

**問 2 7** 光合成についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 植物の体内で炭水化物をつくり出す働きのことである。
  - ② 光合成を行なうには、光・水・酸素が必要である。
  - ③ 植物は、光合成によってつくられた物質をもとにして、成長・開花し、実を結ぶ。
- 

**問 2 8** 気孔（きこう）とその働きについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 気孔はおもに葉の表側にある小さな組織で、一对の孔辺細胞できている。
  - ② 光合成を行なうときの酸素の取り入れと、二酸化炭素の放出口になっている。
  - ③ 蒸散作用を行なうときの水分の出口になっている。
-

**問 2 9** 肥料の 3 要素が不足したときの影響についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①窒素が不足すると、葉が黄色くなり、生育が悪くなる。
  - ②リン酸が不足すると、根の発育が悪くなり、病害虫への抵抗力が低下する。
  - ③カリウムが不足すると、開花や結実が遅れ、果実の品質が低下する。
- 

**問 3 0** 有機質肥料についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①有機質肥料とは、植物や動物由来の有機物質からつくられる肥料である。
  - ②魚かすは、窒素とリン酸を含む比較的速効性の肥料である。
  - ③骨粉は、米ぬかとともに速効性のリン酸肥料である。
  - ④草木灰は、代表的なカリ肥料である。
- 

**問 3 1** 団粒構造の土についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①団粒構造の土は、適度なすき間があり、作物が育つのに適した土である。
  - ②団粒構造の土をつくるには、砂や粘土の粒子を結びつける腐植（ふしょく）が必要である。
  - ③団粒構造の土は、微生物が化学肥料を分解することでつくられる。
- 

**問 3 2** 作物の生育に適した土壌酸度（pH）についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①多くの作物の生育に適した土壌の pH は、5.5～6.5 の弱酸性といわれている。
  - ②ホウレンソウは pH の低い土壌を好む。
  - ③サツマイモは pH の高い土壌でよく育つ。
  - ④pH が高い土壌は石灰をまくことで、pH を低くすることができる。
-

**問 3 3 害虫の防除方法についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①天敵を活用して害虫の生育密度を減らす方法を、生物的防除法という。
  - ②害虫の飛来や産卵を防ぐために「防虫ネット」を活用する方法を、物理的防除法という。
  - ③株元をシルバーマルチで覆い、アザミウマなどが近づかないようにする方法を耕種的防除法という。
- 

**問 3 4 プランター栽培に適した用土についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①水はけがよく、根腐れを心配せずに毎日たっぷり水やりができる土が適している。
  - ②プランターは乾きやすく、かん水により肥料分も抜けやすいので、保水力・保肥力がある土が適している。
  - ③微生物を増やして良い土質にするために、有機質を多く含んだ土が適している。
  - ④プランターは、土の量が少なく肥料焼けを起こすので、肥料分が入っていない土が適している。
- 

**問 3 5 イネの分けつについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。**

- ①イネの分けつとは、苗が成長するときに、新しく出てくる根のことである。
  - ②イネの分けつとは、苗が成長するときに、新しく出てくる茎のことである。
  - ③イネの分けつとは、苗が成長するときに、新しく出てくる葉のことである。
- 

**問 3 6 イネの芽出しに必要な積算水温についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。**

- ①50℃を超えると芽を出し始める。
  - ②100℃を超えると芽を出し始める。
  - ③150℃を超えると芽を出し始める。
  - ④200℃を超えると芽を出し始める。
-

**問 3 7** イネの種まきに適した種もみの状態についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①種もみが吸水を始め、もみがわずかにふくらみ始めた状態。
  - ②種もみが吸水して丸くふくらんでいるが、芽はまだ外に出ていない状態。
  - ③種もみが吸水して丸くふくらみ、白い芽が 1 mmほど出てきた状態。
  - ④種もみが吸水して丸くふくらみ、白い芽が 5 mm以上伸びだした状態。
- 

**問 3 8** 日本で栽培されているカブについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①日本で栽培されているカブは、アジア系品種とヨーロッパ系品種に大別されている。
  - ②現在、市場流通の中心は、東京都金町付近で古くから作られていた「万木（ゆるぎ）かぶ」を改良したものである。
  - ③食用部(肥大部)の表面が紅色をした赤カブにはアントシアニンが含まれている。
- 

**問 3 9** カブについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①日照を好み、日当たりが良いと葉もカブの食用部(肥大部)も充実する。
  - ②栽培する土は、砂が少なめのほうが、カブの食用部の肌がきれいになる。
  - ③カブの食用部が肥大してくると、食用部は土の上に出てくるようになる。
  - ④土壌水分が急激に変化すると、カブの裂根が起きやすくなる。
- 

**問 4 0** コマツナの基本的特性についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①高温に強く低温に弱い、代表的な夏場の葉物野菜の 1 つである。
  - ②強い光を好み、日当たりが少しでも悪いと成長が衰える。
  - ③連作障害が出にくい野菜である。
-

**問 4 1 コマツナの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①根が深く張らないうちに収穫するので、標準プランターで栽培できる。
  - ②発芽とその後の生育が早いので、間引きの時期を逃さないことが大切である。
  - ③間引きは、他の苗を傷めないようにするため、ハサミを使って行うとよい。
  - ④乾燥を好むため、土の表面が常に乾いている状態にするように、灌水(かんすい)は控えめに行う。
- 

**問 4 2 シソについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①シソには、葉が緑色の「青ジソ」と、赤紫色の「赤ジソ」がある。
  - ②半日陰を好み、日当たりがよすぎると葉が硬くなり、苦味やえぐ味が出る。
  - ③シソはわき芽が出にくいいため、摘しんをしないで育てたほうが生育が良くなる。
  - ④土が乾燥すると株が弱ってしまうので、灌水は毎日、夏場なら1日2回は行うようにするとよい。
- 

**問 4 3 赤ジソについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。**

- ①薬味として生食や天ぷらなどに利用されている。
  - ②葉は大葉と呼ばれている。
  - ③梅干しや漬け物の色づけやジュースなどの加工に利用されている。
- 

**問 4 4 ハーブ野菜についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①ローズマリーは、シソ科の野菜である。
  - ②ミントは、料理の香りづけとして利用されている。
  - ③バジルは、生葉、乾燥葉、花穂(はなほ)などさまざまな部位が食用に利用されている。
  - ④エゴマはシソ科の野菜で、葉から抽出された油が健康に良い油として使われている。
-

**問45 葉レタスやサラダ菜の栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①プランターで栽培する場合は、15Lの標準サイズのもので十分栽培できる。
  - ②種まきのときは、種子が発芽しやすいように、一昼夜水に漬けておくか、冷蔵庫に2日間ほど入れて低温にあわせるとよい。
  - ③種まきの時、覆土を厚くかぶせると発芽が良くなる。
  - ④株が大きく広がってきたら、外側の葉から1枚ずつかき取って収穫していくと、長期間収穫することができる。
- 

**問46 結球レタスについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①生育が進むと外側の葉が増えながら内側の葉を包み込み結球する。
  - ②結球時に光が不足すると結球がゆるくなる。
  - ③結球に使われる養分は外葉の光合成によって供給される。
- 

**問47 イチゴについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。**

- ①現在栽培されている品種の多くは一季成りイチゴである。
  - ②四季成りイチゴは低温・長日条件になると、花芽を分化する。
  - ③主要産地では、各県で独自に品種を育成しており、どの県も他県での栽培を許可していない。
- 

**問48 イチゴの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①初めて栽培する場合は、苗を購入して育てるより、種をまいて育てた方が育てやすい。
  - ②イチゴは、親株から伸びたランナーについた子株を育てて増やしている。
  - ③イチゴの人工授粉は、梵天（ぼんてん）を使って、開花した花の中心をなでるようにして花粉を雌しべにつける。
-

**問49 エダマメについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。**

- ①エダマメは、未成熟の状態で収穫した大豆を食用とする野菜である。
  - ②エダマメは、暑さにも寒さにも強い。
  - ③関東地方以南では、香りがよく甘みの強い「だだちゃ豆」が多く栽培されている。
- 

**問50 エダマメと根粒菌の共生についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。**

- ①エダマメの根についている「根粒」の中には、根粒菌が住み着いている。
  - ②根粒菌は空気中の酸素を取り入れ、エダマメに供給している。
  - ③エダマメは、光合成でつくった炭水化物を根粒菌に供給している。
-

# 日本農業検定